

「エコロジー」

川幸通信

第28号
平成20年1月発行

「エコロジー」とは生態に学ぶという意味です。

人間は生態圏から飛び出した特別な存在ではなく、循環型社会である生態系の一員なのです。ですから人間の生き方を暮らし方は、エコロジーでなければいけないのではしょう。

生態を守りながら自然を壊すことなく上手に利用しながら生きていく事、私たちが住んでいる環境で快適に暮らしながら、共に暮らしていこうという「環境共生」です。

雑誌や新聞などで時折目にするこの言葉「住宅」という言葉が有名ですね。

この言葉は1990年に政府が提唱した「地球温暖化計画」を受けて財団法人建築環境・省エネルギー機構が事務局となり、この言葉を登録商標とし、研究を始めました。

環境共生住宅の定義は：

「地球環境を保全するという観点から、エネルギー・資源・廃棄物などの面で充分な配慮がなされ、また周辺の自然環境と親密が美しく調和した快適な生活に親わりながら健康で快適に生活できるような工夫された住宅」と定義されています。



では具体的に環境共生住宅とはどのようなものか覗いてみましょう。

具体的には：

- ◎地球環境の保全
- ◎周辺環境との親和性
- ◎居住環境の健康・快適性

という3つの機能を備えた住宅を目指すのです。この認定基準はかなり厳しく

- ①省エネルギーに関する高度な提案
- ②省資源廃棄物に関する高度な提案
- ③地域環境親和性に関する高度な提案
- ④健康快適安心に関する高度な提案

という4分野の必須条件を満たし、高度他にも細かい条件・要件があります。

日々の生活で「環境と共生する住まい」と言う事なら、特別な決まりはありません。一人一人が、自然環境を守りながら快適に暮らすこととは何か、そう問います。第一歩なのではないでしょうか。へん



つれづれ・・・

平成20年の幕が明けました。本年も宜しくお願い致します。

さて先日、某ショッピングセンターの食料品売り場で見つけた不思議で可愛らしい物（左写真）

どうやら豚マンらしい・・・見た目が豚マンなのか中身が豚マンなのか・・・

色違いで3色ありました

ピンク・・・

ブラウン・・・

イエロー・・・

何故か売れ行きにムラがある・・・詳細を確かめたく購入を試みようとしたら

「そんなのやめなさい」
はい・・・

誰か食された方居ましたら教えてください。最近この旨いのかそうでないのか。大量のこいつが夢に出てきます（苦笑）
大量のこいつが襲われています・・・

TEL
FAX

0566-53-1214
0566-53-2094

川幸窯業株式会社

E-Mail info@kawakoh.co.jp
HP http://www.kawakoh.co.jp